

内閣総理大臣 安倍晋三 様
衆議院議長 大島理森 様
参議院議長 伊達忠一 様

沖縄県民の民意尊重と、基地の押し付け撤回を求める 全国統一署名

日本全土のわずか0.6%にすぎない沖縄に、在日米軍専用施設の74%が集中していることは周知の事実です。

その結果、沖縄が日本に復帰した1972年以降も、米軍人等による犯罪は後を絶たず、復帰後44年間だけでも5910件にのぼり、うち凶悪犯罪は575件を占めています。2016年4月にも、ウォーキング中の20歳の女性が元海兵隊員に殺害されました。加えて、戦闘機など米軍機による耐え難い爆音被害の実態は、司法も認めています。10万人余の県民大会が配備撤回を求めたオスプレイの訓練による被害は、自治体の調査でも激しさを増しており、「運用協定」などは米軍優先で空文にすぎなくなっています。

沖縄県民は幾度も、県民大会や国政選挙、自治体選挙で、また県議会や市町村議会で、米軍基地の県内移設に反対する意思を示してきました。2013年1月には、県議会議長と全議員、市町村関係4団体の長、全41市町村長と市町村議会議長の連名による、オスプレイの配備撤回と普天間飛行場の閉鎖・撤去、県内移設の断念を求める「建白書」を携え、安倍首相に直訴しました。

にもかかわらず政府は、新基地建設に反対する非暴力の抗議行動に対して、沖縄県外から数百人もの機動隊を投入して弾圧・排除しつづけています。これは人権と民主主義の理不尽な否定にほかなりません。

また、辺野古新基地とオスプレイ・パッドの建設が、ジュゴンやサンゴなど貴重な海洋生物の生命を奪い、ヤンバルの森のかけがえのない生態系を破壊することは明らかで、国際的にも批判されています。

このようなことから、私たちは次の事項の実現を求めます。

【 請 願 事 項 】

- 一、名護市辺野古への新基地建設をやめること。
- 一、全国各地へのオスプレイの配備に反対し、とりわけ東村、国頭村にまたがる北部訓練場でのオスプレイ・パッドの建設工事を直ちにやめること。
- 一、危険な普天間飛行場はただちに閉鎖し、すみやかな返還を実現すること。
- 一、沖縄駐留の米海兵隊を撤退させること。
- 一、不平等な日米地位協定を抜本的に改定すること。

名	前	住	所

署名用紙の送り先:〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-15 塚崎ビル3F 総がかり行動実行委員会 第一次集約/2017年1月10日

呼びかけ団体
基地の県内移設に反対する県民会議
☎ 098-833-3218 (沖縄平和運動センター)
「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会
☎ 090-3910-4140 (一坪反戦地主会関東ブロック) ☎ 03-6382-6537 (沖縄意見広告運動) ☎ 03-3363-7561 (ピースボート)
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
☎ 03-3526-2920 (1000人委員会) ☎ 03-3221-4668 (9条壊すな！実行委員会) ☎ 03-5842-5611 (憲法共同センター)

取扱い団体



「**沖縄県民の民意尊重と、
基地の押し付け撤回を求める**」

全国統一署名にあなただのご協力をお願いします。



写真の提供・出典

- ①国際環境NGOグリーンピース・ジャパン ②④名護市作成リーフレット
③広塚忠夫さん ⑤blog「チョイさんの沖縄日記」 ⑥宜野湾市HP
⑦琉球新報号外2016/6/19付

この署名運動には、各地・各界から多くの人びとが賛同しています。



——うつくしい海を壊す 止めよう 辺野古への新基地建設



代替施設イメージ図

沖縄県名護市辺野古に計画されている新基地。普天間飛行場の“代替”と言いながら、実際は、軍港などをもつ耐用年数200年もの恒久基地です。美しい海を、鉄とコンクリートの基地が覆うのです。住民の頭上を米軍輸送機や危険なオスプレイが飛び回ること。埋立でサンゴ礁や藻場が失われます。ジュゴンやウミガメなどは棲めなくなります。西日本各地から搬入予定の土砂で沖縄の生態系が壊されます。国際自然保護連合やラムサール条約事務局も、重大な環境破壊を警告しています。

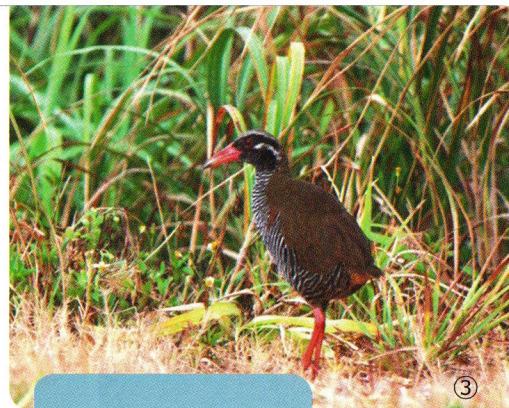
危険な普天間飛行場はすぐに閉鎖・返還を

海兵隊の普天間飛行場は、人口約10万人の宜野湾市の真ん中です。住民は市内の往来さえ不便を強いられています。地域経済の発展を妨げています。頭上を輸送機やヘリ、オスプレイが飛び交い、日常的に爆音と事故の危険にさらされています。2004年には沖縄国際大学にヘリが墜落炎上。米軍は消防や警察の調査も拒否。米国防長官も「世界一危険な基地」と公言。もともと沖縄の基地は米軍が力で奪ったものです。日米両政府の「返還は辺野古新基地と引換え」は居直りです。



——やんばるの森を壊す オスプレイ・パッドはいらない

沖縄本島北部の「やんばるの森」。絶滅危惧種の天然記念物、ノグチゲラやヤンバルクイナの生息地。そこに政府はオスプレイ・パッド(発着場)6基の建設を強行。オスプレイは墜落事故が多く、ものすごい騒音と熱風で住民や動植物を襲います。希少生物保護の日米合意にも反しています。地元高江の住民はじめ沖縄各地、全国からも多くの人びとが、現地にかかけつけ、連日の阻止行動が続いています。政府は「本土」から500人も機動隊を送り、力で排除。自衛隊ヘリも投入し、工事を強行しています。



海兵隊は撤退を

日本全土の0.6%の沖縄。在日米軍専用施設が74%も集中しています。海兵隊は「日本のための抑止力」とされていますが、大半は海外での巡回や戦闘が任務です。沖縄での海兵隊など米軍人・軍属などの犯罪は、72年の復帰後44年間で5910件。うち凶悪犯罪は575件も。2016年4月にも20歳の女性が元海兵隊員に殺害されました。

「海兵隊撤退を」




追悼・抗議県民大会に数万人

悲しみと怒り 限界超

不平等な地位協定の抜本改定を

「日米地位協定」をご存知ですか？ 在日米軍要員には日本の法令は適用されません。公務中なら犯罪を犯しても、裁判権は米側にあります。また「公務外」でも、米兵が基地に逃げ込めば、日本の警察は手出しができません。地位協定には、環境保護や立入調査権の規定がありません。米軍の燃料や有害物質で水・土壌・大気の汚染も深刻です。2015年に「環境補足協定」が結ばれましたが、実効性には疑問があります。



沖縄に
もう、これ以上
基地はいらない

基地の県内移設に反対する県民会議

「止めよう!辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会